

1 国語に関する調査

【特長】

- 資料を読んで、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くことがよくできている。
- 複数の資料を読んで、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることがよくできている。

【課題】

- 情報と情報との関係付けの仕方や図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使うことに課題が見られる。問題の意図を理解し、文章だけでなく、記録したものなど複数の資料から考えることを意識し、考える学習の機会を増やしていく。
- 話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることに課題が見られる。書かれている文章の中で、大切な部分を意識しながら読むことを学習活動に取り入れていくことが重要だと考える。

2 算数に関する調査

【特長】

- 伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見いだすことがよくできている。学校生活での経験が生かされていると考えられる。
- 分数の計算で、異分母の分数の加法の計算をすることができている。授業の際、異分母の計算を繰り返すことで、正確に解答することができるようになったと考える。

【課題】

- 棒グラフから、項目間の関係を読み取る問題で、誤答している児童が多い。授業でも、何を問われているのかを確認しながら答えを導く学習をすることが重要だと考える。
- はかりが示されている図から、はかりの目盛りを読むことに課題が見られる。下学年での既習内容を確認しながら、様々な目盛りの読み方を学習することが重要だと考える。

3 理科に関する調査

【特長】

- 電流が作る磁力について、電磁石の強さは巻き数によって変わることを理解している。自分で課題を作り、実験から結果を導き出す日々の学習の成果と考える。

【課題】

- 発芽するために必要な条件について、実験の条件を制御した解決の方法を答える問題の正答率が低い。植物の成長について実験の計画を立てる際、条件制御の必要性を明確にして取り組むようにする。

4 児童質問紙の結果より

【特長】

- ・将来の夢を持っている児童や、人の役に立つ人間になりたいと考えている児童が多い。日常生活でも友達関係に満足し、学校生活が楽しいと回答している児童が多い。
- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだという意識が高く、困っているときには進んで助けようとしている児童が多い。

【課題】

- ・学校の授業以外に家庭学習する時間が少ない、全くしないと回答した児童が多い。自分から勉強しようという意識を高めるため宿題の出し方を工夫し、家庭で学習する時間を確保できるようにしたい。
- ・算数の勉強が苦手と回答している児童の割合が高い。現在少人数学習を行い、個別に対応できるような指導体制をとっているので、継続していきたい。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- ・学習面においては、低学年から基礎基本の定着が図れるように授業の工夫改善を行う。
- ・活字離れが進み、読書の時間が少なくなっている。文章を読み取る力を付けるために、学校図書館を活用し、朝の時間や読書週間などで読書の時間を確保していく。
- ・伝えたいことを言葉にできるようにするために、話し合い活動を充実させて発表の場を設定していく。
- ・たてわり班活動を通して、高学年としてのリーダーシップを身に付けたり、お互いを知り認め合ったりできる異学年交流の場を大切にする。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- ・地域で活動することを好む児童が多いので、地域の行事やイベントなどに参加できる機会を増やし、地域の方々との交流ができるようにご協力をお願いします。
- ・ご家庭でも学校での学習を振り返る場を作ってください、子どもが進んで学習に取り組めるように見守り、励ましの言葉がけをお願いいたします。
- ・規則正しい生活を心がけ、インターネットやゲーム、スマートフォンを使用する際には、内容や利用時間を確認し、家庭での約束を守って使うようお願いいたします。